

人権特設相談所

日常生活や身の回りの人権問題について、人権擁護委員が相談を受けます。相談は無料で、秘密は厳守します。

- 日時／7月20日(木) 13:00~16:00
- 場所／金屋文化保健センター 2階 応接室

電話による人権相談窓口

みんなの人権 110 番 (さまざまな人権問題)

☎ 0570-003-110

女性の人権ホットライン(家庭内暴力など女性の人権問題)

☎ 0570-070-810

こどもの人権 110 番(いじめ・虐待など子どもの人権問題)

☎ 0120-007-110

考えてみませんか、私の人権、あなたの人権。

人権だより

総務課 (吉備庁舎)

電話 22-3291

ファクス 52-3210

最近思うこと

最近、「Chat GPT」という質問に答えてくれる AI (人工知能) があるそうです。マスクミなどでも活用と規制が議論されていて、時代の転換期などと言う人もいます。

試しに主人が人権の会であいさつ文の作成について質問してみました。すると、かなり現実味のあるクオリティの高いあいさつ文を回答してくれ、驚きました。もしかしたら近い将来、人間が AI に取って代わられる時代が来るのかもしれない。こんなことを考えていると、これからの人と人の関わりや人権はどうなっていくのだろうと不安になることがあります。

そんな中、人権機関有田川の委員研修会でアクト研究室の鳥淵朋子さんから「アンコンシヤス・バイアスってなあに？」という演題でお話を伺う機会がありました。「アンコンシヤス・バイアス」と難しい言葉の意味ですが、「無意識の思い込みや偏見」ということでした。私たちは、無意識に相手を傷つけてしまうことがあります。人間の脳は、経験を元に判

断したり考えたりするため、無意識の思い込みや偏見に気をつけなければいけないのだそうです。

この話を AI にあてはめて考えてみると、AI は正解中の膨大なデータを元に、最善の考えを導き出すとするので「無意識の思い込みや偏見」はありません。また AI は今後どんどん学習を積み重ね、人間をはるかに超える確実な答えを出してくるようになるかもしれません。

そうなると「AI の意見を聞きながら判断や行動したほうが間違いない」と無意識に思い込んでしまう「アンコンシヤス・バイアス」がはびこる時代も遠くないかもしれません。どんな時代になっても機械 (AI) はあくまでも道具、使うのは人間ということに肝に据え、一人一人が大切な存在であるという人権感覚を磨くこと、そして鳥淵朋子さんもおっしゃっていた「無意識に意識を向けて気付く」ということを忘れてはならないと考えさせられました。

人権機関有田川会長 中西敏代

人権啓発標語募集

●**応募対象**／町内に在住もしくは通勤・通学している方

●**内容**／「命」をテーマにした標語

●**応募期間**／7月3日(月)～8月

28日(月)必着

●**入賞**／一般の部(高校生含む)・

中学生の部・小学生の部の三部門で若干数を選考し、記念品を贈ります。

●**展示**／人権標語作品集や啓発用教材などに使用し、広く活用します。

●**その他**／応募は一人一作品です。作品は未発表のものに限り、原則として返却しません。また、作品の著作権は主催者に帰属します。

●**応募方法**／作品に氏名(ふりがな)・年齢・学校名と学年(学生の場合)・住所・電話番号を記載し、ご応募ください。

●**応募先**

〒643・0021

有田川町下津野 2018 番地 4

人権機関有田川事務局(総務課内)



応募用二次元コード
(一般の部のみ)